



## オジギソウはなぜさわると葉がとじるの

オジギソウが葉をとじるのは、さわるときだけではない

オジギソウは一日の内でも、朝に葉を開き、夜は葉をとじます。また、昼間でも雨が降ったり、くもれば葉をとじます。

じゅんじゅんに葉がとじて、やがて全体がしぼむ

葉のとじかたは大変おもしろいものです。強くさわれば、小さな葉がたくさんついている柄がすぐに下がります。かるくさわると、さわった葉から、じゅんじゅんにとじていきます。

体温調節もその1つの役目

植物は人間のように、体温の調節ができません。夜やくもりのときなどは、植物から熱が逃げ温度が下がります。オジギソウが葉をとじるのは、身をちぢめて、できるだけ熱が逃げないようにしているからだと考えられています。

とじたり、開いたり、細胞の中の水の出入りで起こる

葉や柄のつけ根には葉枕、柄枕とよばれる特別な部分があります。刺激があると、この細胞の中の水が、きゅうげきに細胞の外に出ていき、葉がとじます。時間がたつと、水は、ゆっくりと細胞の中にもどされ、葉は再び開きます。（監修・中山 周平）

